

広島県坂町への災害派遣



派遣先 広島県坂町税務住民課
所属 保健福祉局地域福祉推進部地域福祉推進課
氏名 加来 弓佳
活動期間 平成31年1月1日～平成31年3月31日

1 志望動機

地域福祉推進課は、保健師の取りまとめ部署で、私が現所属に配属後、熊本地震や九州北部豪雨災害などで派遣に伴う事務の補助を行ってきました。同僚が実際に益城町に半年間派遣された実体験を聞き、私にも何か出来ることがあればと考えるようになりました。

今回の派遣は、固定資産税等の災害減免申請認定業務で、これまで固定資産税業務に携わったことはなかったのですが、納税課や市民税課で培ってきた知識を活かして頑張りたいと思い、公募に手を挙げました。

2 坂町の概略

人口：約13,000人

面積：約16km²

坂町は、広島県の南西部で安芸郡の北西に位置し、町境は、広島市安芸区及び呉市に隣接しており、JR呉線、広島呉道路（クレアライン）、海田大橋（ひろしまベイブリッジ）、国道31号によって、広島市や呉市の中心市街地へ約20～30分でアクセスできる交通利便性の高い町でありながら、町の周囲が約7.1kmの海岸線と面積の約5割を占める山林で囲まれた豊かな自然環境に恵まれています。

町の木・花・鳥

◎町の花（あさがお）

◎町の木（梅）

◎町の花（メジロ）



3 業務の内容

今回、本市から坂町への派遣は、H30.10.1～H31.3.31の6ヶ月でしたが、H30.10.1～H30.12.31とH31.1.1～H31.3.31の2班体制で、私は後半に従事しました。

坂町では、税務住民課固定資産税係に所属しました。固定資産税係は、固定資産税（土地、家屋、償却）の他に軽自動車税、罹災証明に関わる事務を行っています。

前半の二人（田中主査、中島主査）は、固定資産税（土地）の経験者でしたが、後半の我々は、村上主査も私も固定資産税の経験はありませんでした。前半の二人が、そのことをかなり気にして仕事を片付けてくださったおかげで、固定資産税の知識が無いと困る仕事は残ってい

ませんでした。

実際に行った業務は、新年度（平成31年度）賦課に係る事務で、固定資産税（償却）の申告書の入力や軽自動車税の台帳登録が多かったです。土地や家屋については、災害に伴う特例の減免が適用されなくなる2年後の課税処理時に対象物件だったのかどうか判定する記録を残すためメモを入力する作業が主でした。

今回、業務においていろいろ困ったり悩んだりすることもありましたが、北九州市から派遣された職員が同じ職場にいて隣同士の配席だったのは、一人じゃないことや話がしやすくてとても心強かったです。また、村上主査はエクセルが得意で、システムで入力したものと基本となるデータとの突合作業をしてくださったおかげで、確認作業が早く完了し、様々な業務において時間短縮になり、とても助かりました！システムへの入力は私が担当し、入力後の確認は村上主査が行うという割振りが多かったと思います。

これまでの業務でシステムを使う仕事が多かったので、初めて使うシステムでも分からないと尻込みすることなく、とりあえずしてみようということが私の強みだと今回の派遣で気が付きました。

4 坂町での交流

私は、趣味でバドミントンをしています。年明け早々1月5日（土）の夜から、坂町体育協会のバドミントン部に参加させていただきました。3ヶ月間の短い期間でしたが、安芸地区のバドミントン大会にも参加させてもらいチームで第3位という結果を得ることができ、とても記念になりました。バドミントンの仲間には本当にとってもよくしていただき、そのおかげで充実した日々を過ごすことが出来ました。

5 最後に

災害から間もなく1年が経ち、町民の生活は被災前に戻っているようにも見えますが、被災した家屋の解体も多くは手付かずで、復旧・復興は思うように進んでおらず、これからもかなりの時間を要するものと思われます。まだまだ大変な時期は続きますが、一日も早い復旧・復興を心から願っています。

坂町役場、他自治体の派遣職員、北九州市等の関係者の皆様に心から感謝し、活動の報告とさせていただきます。

【被災地の様子等】





坂地区



水尻地区

平成31年度の縦覧等に関する告示を町内の掲示板に掲示している様子



町民の方が移動販売を利用している様子





坂町の特産品

町民センターに展示されている
カラーマンホール

